

7月のこよみ
 ◆プール開き(1日)
 ◆小田原ちょうちん祭(1-7日)
 ◆安全週間(1-7日)
 ◆社会を明るくする運動(7月中)
 ◆七夕(7日)
 ◆海の記念日(20日)
 ◆自然に親しむ運動(21日-8月20日)



十月から届出事務 五種類の拠出制年金

昨年四月公布された国民年金制という拠出制年金が基本となっており、その中には一定の掛金(保険料)が納められます。

しかし、いろいろの事情により、保険料を納めることができない者、将来に、重い身体障害者や夫と死別した者が、義務教育終了の子供を養つてゐる未亡人等もいるわけで、これらの方々に現在のうちに保険料金を納めず、将来にわたっての拠出制の福祉年金が支給されておきます。

この福祉年金は、昨年九月から保険料を納めることにより届出事務が始まり、この三月国民年金は、いよいよ本格的に発生して、その十月からは拠出制年金の届出事務が、本年四月から開始されます。

国民年金の概要

この年金に加入する人は、二十歳から六十歳までの人で、このうち昭和三十六年四月一日において二十歳から四十九歳以下の人には必ず加入しなければなりません。

任意に加入できる人
次のような人は本人の希望により任意に加入することができます。
 ①公的年金による遺族年金を受けている人
 ②公的年金で保障されている人の配偶者、たとえばサラリーマンの奥さん等
 ③高校生又は大学生などです。

加入できない人
現在すでに公的年金、たとえば厚生年金保険法、各種の共済組合法、恩給法等によって保障されている人、国民年金法は母子福祉年金を除かれます。

納める方法
届出により交付された国民年金手帳に年額にのじた国民年金印紙(郵便局窓口で販売)をはり、役所で検印を受ける仕組みとなっております。

保険料の免除
次の方は申請により保険料が免除されます。
 ①障害年金又は母子福祉年金を受給している人
 ②公的年金の適用を受けているか
 ③「国民年金」に加入する意志があるかどうかを調査します。

調査対象者
この調査は、市内に生活の本拠を有する日本国民の全世帯について行なわれますが、うち世帯員については、現在十八歳から満五十四歳までの間の年齢に達する者はすべて調査対象となります。

調査事項
なお、付帯調査として保険料納付制度活用世帯調査が行なわれます。この調査は、被保険者となつていただく世帯主(国民年金)の届出事務を基礎として、そのもの(国民年金)に加入する意志があるかどうかを調査します。

国民年金の世帯調査 七月から実施

国民年金制度の基本である拠出制年金は、いよいよこの十月から被保険者の届出が開始され、明年四月から被保険者に対して保険料の徴収が行なわれます。

この届出が、公正適確に行なわれるかどうかは国民年金事業の運営に大きな影響を及ぼします。

そこでこの届出にさきから市民のみならず、被保険者の資格をもっているかどうかを調べる世帯調査が、七月一日から三十一日までの一カ月間にわたって実施されます。

世帯員については、現在十八歳から満五十四歳までの間の年齢に達する者はすべて調査対象となります。

なお、付帯調査として保険料納付制度活用世帯調査が行なわれます。この調査は、被保険者となつていただく世帯主(国民年金)の届出事務を基礎として、そのもの(国民年金)に加入する意志があるかどうかを調査します。

ご参考までに前納の利点をあげますと、二十歳の人から四十年間まるまる保険料を納めたとするのと総額で六万三千円となりませんが、一番最初に一度に納めれば、保険料は割引されて二万三千五百四十円です。

年金の種類

拠出制国民年金の種類は、老齢の例をあげてみます。①老齢年金、障害年金、母子年金、遺児年金の四種類に分かれます。②年金及び寡婦年金の五つです。③六十歳から毎々四万二千円、④四十歳から二十年間納めたときは六十歳から毎年一万八千円、⑤六十歳から毎年一万八千円が納められます。

老齢年金
一定の期間保険料を納めていた人が、六十五歳になつたときから毎々納められます。一定の期間をその人の年齢によつて分けておき、二十歳以上で一定の期間保険料を納めていた人が失明したり、大体のところが二十歳以上の人が二十五年以上、三十歳から六十歳以上、四十歳以上、五十歳以上というように分けがけをしておいて、手足りる人へは十年以上ということになります。年金の額は保険料をつけた人(二十歳以上)が納めた期間によつてちがいますが、早い保険料の期間によつてちがいますが、七十歳以上、三十年間のときは七千二百円、三十年間のときは七千二百円、三十年間のときは七千二百円、三十年間のときは七千二百円。

障害年金
二十歳以上の人で、一定の期間保険料を納めていた人が失明したり、大体のところが二十歳以上の人が二十五年以上、三十歳から六十歳以上、四十歳以上、五十歳以上というように分けがけをしておいて、手足りる人へは十年以上ということになります。年金の額は保険料をつけた人(二十歳以上)が納めた期間によつてちがいますが、早い保険料の期間によつてちがいますが、七十歳以上、三十年間のときは七千二百円、三十年間のときは七千二百円、三十年間のときは七千二百円、三十年間のときは七千二百円。

母子年金
母子年金は、拠出制年金に加入した期間保険料を納めた期間が、夫と死別し、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。母が納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。母が納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。母が納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。

遺児年金
一定の期間保険料を納めていた人が死別した子供が、十八歳以上で、一定の期間保険料を納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。母が納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。母が納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。母が納めた期間が二十年以上で、十八歳未満の子供を養つてゐる年金です。

寡婦年金
一定の期間保険料を納めていた人が死別した配偶者が、六十歳以上にならないうちに死亡したとき、奥さんが夫に代つてその年金をもらうことができます。ただし、この場合死亡した夫と十年以上婚姻関係が継続していなければならないこと、もらはる期間は死亡してから六十歳から六十五歳までの五年間ということになります。もらはる額は、夫がもらはるべき年金の額の半額に相当する額です。

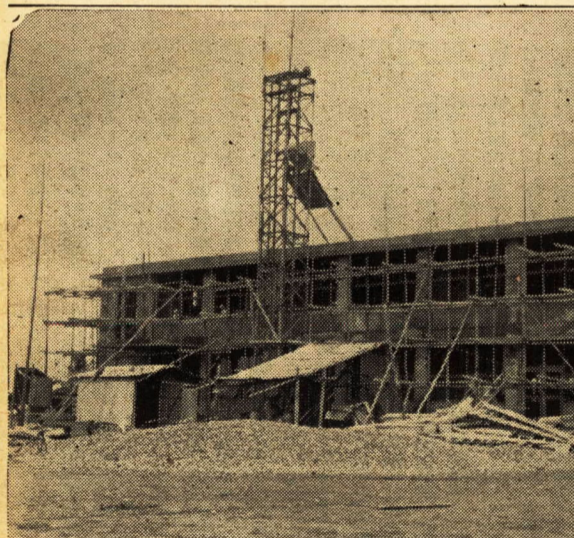
皆様に力に感謝

**好成績を収めた
三十四年度の納税
徴収率は九八・五七%**

さる三月五日上昇し、過去四年全国五万以上(現年度分では九九・三九日)から五月三十の都市で最上位を確保してまいり、という極めて良好な成績を収めた本市は、三十四年度も調定額四、〇〇〇、〇〇〇円に達することができました。

市民の皆さまの、収入が四、〇〇〇、〇〇〇円の納税に対する深いご理解と協力のおかげで、昨年度の徴収率九八・五七%を上回りました。

本市の市税徴収成績は、年々



**保険料の収納成績
九八・三三%(三十四年度)**

昭和三十四年度保険料の滞納整理は五月三十一日締め切り、市から療養給付費として医療費に充てられたりした額が九、九百三十三万五千円、前年度の滞納率九七・八六%を上回る九八・三三%という成績を挙げることができました。

これは、ご協力いただいた市民の皆さまの理解と協力のおかげです。ご理解と協力をお願いいたします。

下會小学校増築工事進む
下會小学校の増築工事(第三期)が写真でご覧のように急ピッチで進められております。この工事は、市内小学校では、初めての鉄筋コンクリート造りで、七月末までには四教室と職員室ができる予定です。

7月の納税
 資産税 35年度分
 固定資産税 第2期
 都市計画税 8月1日納期
 納期限は8月1日以内
 納税はぜひおこなってください。

請求権を一年延長

期限は明年五月十六日

引揚者の給付金

引揚者給付金の請求権は、本年五月十六日までとなつておりました。...

また請求されている地区は、海岸保全区域として指定され、さる四月一日から...

この指定は、小田原海浜地区、高瀬川沿岸の指定区域は、高瀬川は地盤の変動による被害から防護する...

動等による被害から防護するため、とられた措置であります。...

自治会長の改選おわる

広報委員も二二五名委嘱

このたび市内二二五地区の自治会長のうち半数の方が改選されました。...

肢体障害者福祉会が発足

期待される福利の増進

小田原市に、このほど肢体障害者福祉会が結成されました。...

自治会長一覽表

- (カツコ内会長名敬称略) 第一区(岡見和宏) 第二区(日比谷勝三) 第三区(伊藤英太郎)...

中元資金の貸し付け

希望者は小田原信用金庫へ 市では、市内中小企業者に中元を貸し付けることになりました。...

人事異動

このたび商工観光、衛生及び経済の三課長の勇退に伴い、六月二十四日付で次のとおり職員異動が行なわれました。...

火災の電話は

問い合わせ 四九一九 消防本部 二四五二 足病分署 四二四〇...

消防分団の改組成る

旧市内五個分団を二個分団

市の消防団は、さる六月一日つた三台の小型ポンプは消防署に部の改組を行ない、新玉、万年、配置換えとなり、うち一台は足柄の三個分団を一個分団に、幸、十、川東両分署所属の第一、第二消防車の二個分団を一個分団にそれぞれ統合しました。...



建設だより 板橋田道道路改良側溝工事 (工事概要) 舗装工事にさきだち側溝を改良するもの

農道改良工事 (工事概要) 道路を拡張し、コンクリート舗装したもの ①秋窪下方農道 延長九三メートル 幅員三メートル (従来二メートル)

狹窪形状農道 延長九八メートル 幅員二・五メートル (従来二メートル) ②秋窪下方農道 延長一〇三メートル 幅員二・五メートル (従来二メートル)

土木路をコンクリート排水路に改良 ①曾比寺下排水路 延長一〇一・五メートル 幅員五センチ 深さ五・五センチ

恐ろしい夏の伝染病

過労や暴飲暴食をさげよう

梅雨があけると本格的な夏がやってくる。夏は健康増進の季節であり、また赤痢や疫痢、日本脳炎などの伝染病の発生する時期でもあります。

手洗いの励行

伝染病の予防には、まず伝染経路をたつことが大切です。そのためには、食事や調理の前に必ず手を洗ひましょう。

飲食物に注意

夏は温度が高いので、食物はくさりやすくなります。くさった物やなま物は、わずかな病原菌がついても繁殖しやすいため、一般の家庭はもちろん、集団生活をする学校や事業所などには、特別な注意が必要になります。

力とハエの撲滅

力は日本脳炎を媒介し、ハエやネズミは赤痢や疫痢を媒介します。ふだんから水たまりをなくしたおたがいに衛生に注意して、こ



小田原城天守閣の夜景

る機会が多いので、どうしても過労になりがちです。水泳やピクニックのあとで日本脳炎になる子供が多いのを見ても、過労の防止がいかに大切かがわかります。

気をつけよう子供の水遊び

去年の死者管内で六人

いよいよ水泳や水遊びのシーズンはやってきました。毎年夏になると水の犠牲者が多くなり、特に小さい子供さんをお母さん方にとつては気の許せないシーズンです。

子供だけの水遊びは危険

いままでの例からみまますと子供だけの水遊びには事故が多いようです。近くに海や川、あるいは沼や用水池のあるお宅では、特に気を付けて、子供だけで泳いだり、遊びに行かないよう注意して下さい。

泳ぐ前には必ず準備体操

水泳は、陸上を走るよりもっとはげしい運動です。いきなり海に飛び込んだりすると心臓まひなどを起しがちです。

疲れたら水からあがる

疲れたり、くちびるが紫色になつたら水から出て休むことです。疲れるとけいれんを起したり溺れやすくなります。

ボート乗りの注意

ボートに乗るには、定員を守り静かに乗りましょう。特に酒を飲んでボートに乗るのは危険です。

校外生活指導者さま

教育委員会では、このほど次の環境の浄化につとめることをおもな任務としております。

事故の起きた場合

近くの人に助けを求めて、大勢で助けましょう。仲間だけで助け合は

緊急の事件は

一一〇番へ 小田原警察署

医師の診断を受け、正しい治療を受けましょう。

しょうと療法は危険ですから絶対にやめて下さい。

人権特設
相談所の開設
7月18日
午後1時から
午後4時まで
中央公民館分室



桜井保育園が開園

このほど地元の方々の協力により市内曾比に市立桜井保育園が開園しました。

この保育園は、総工費三〇八万円(国庫補助七〇万円、県費補助三五万円)、木造スレートぶき平家建(延面積二六四平方)のスマートな建物で、遊戯室、保育室、乳児室、調理室、事務室その他の施設が完備され、桜井地区の幼児五七名(定員六〇名)が楽しい毎日を送っております。

なお、同保育園の開園により市内の保育園は、公私立を合わせて二二(市立八、私立一五)となりました。

夏の防犯

この季節には毎年、そのすきをねらうかのように暴力や性犯罪、盗難事件などが発生しております。

夏になると各地で夏まつりや花火大会、盆おどりなどの行事がにぎやかに行なわれ、人の心もゆるみがちになります。

ここ数年、世論の非難と警察の取締り強化により、暴力性犯罪は次第に少なくなっています。

またこの小田原警察管内に於いてみまますと、事故者十人のうち六人が死亡し、四人が救助されましたが、死亡者は皆十五歳以下の子供さんでした。

では、これらの事故を防ぐにはどうしたらよいか、小田原警察署より注意を呼びたい。

暴力団や痴漢に注意

夜間婦人の一人歩きは危険

夏はまた性犯罪の多くなる季節です。特に婦人は、夜間はもちろん昼間でも人通りや人家のないところを一人歩きは避けましょう。

また服装や態度に注意し、盗難をふせよう。

夏は行楽シーズンでもあるので家中で留守にすることも多くなります。

また暑苦しい毎日が続くので、だれしも解放的になるのが人情です。

- 校外生活指導者さま
- この指導者は、校外における子供のグループ活動や自主的活動の指導を行ない、子供の幸福を守るの指導者も兼ねております。
- 指導者名
- (カソコ内は学区)
- 岩本昇(本町) 湯山美晴、石川保(城内) 新村清、小沢庄太郎(新玉) 横山ツマ(足柄)
 - 守屋喜代松(戸子) 市川正夫(大窪) 加藤吉夫(早川)
 - 小高行夫(山王) 三宅恵光(町田) 常盤進(久野)
 - 長谷川邦彦(富水) 大木留雄(下府中) 野口英治(桜井)
 - 村山繁蔵 神野国光(千代)
 - 野口義勝(酒匂) 石井久二(国府津) 中根金蔵(下曾我)
 - 大塚一雄(片浦) 本多邦治(曾我)
- 久野地区社会体育嘱託員
- 近藤功(星山) 石渡猛(坊所)
- 池田トミ子(三園)

第12回小田原市民体育祭は、きたる8月7日から14日にわたって開催されます。

競技は、市内22地区体育振興会の代表選手による大字対抗競技(13種目)と、だれでも自由に参加できるオープン競技(11種目)が行なわれます。

競技種目は次のとおりであります。軟式野球、ソフトボールについては、7月24日から熱戦が展開されます。

開会式

8月6日午後5時から、各種目協会会員及び大字代表選手などによる市中パレードが、本町小学校から箱根口、宮の前通り、国際通り、大工町、銀座通り、小田原駅前、幸町交番、市役所を経て天守閣まで行なわれます。

午後6時30分から天守閣本丸跡広場(雨天の場合は中央公民館)で昨年度優勝の大字から優勝旗、優勝杯の返還が行なわれ、引き続き午後7時30分からレクリエーション協会による日本各地の民踊やフォークダンスなどが行なわれます。

競技種目

軟式野球 7月24日から8月14日までの毎週日曜日に、市営城内野球場と印刷局球場(酒匂)で各大字対抗のトーナメント



ソフトボール 7月24日から8月7日まで毎週日曜日本町小学校

バスケットボール 8月7日午前8時30分から小田高体育館で大字対抗及びオープン

弓道 8月7日午前9時から報徳弓道場(二宮神社)でオープン

相撲 8月7日午前9時から城山仮設相撲場(庭球場隣)で大字対抗及びオープン

剣道 8月7日午前8時30分から城内高校体育館で大字対抗及びオープン

自転車 8月7日午前9時から市営競輪場で大字対抗(新種目)

山岳 7月30・31日の両日にわたり富士登山が行なわれます。

※フットボール、柔道、卓球、バトミントン及び閉会式等の日程については次号掲載

主催 小田原市、市教育委員会、小田原体育連盟、小田原市地区体育振興会連絡協議会

校庭で各大字対抗及びオープン

陸上競技 8月7日市営城山陸上競技場で大字対抗

水泳 8月7日午前8時50分から市営御幸の浜プールで大字対抗

バレーボール 8月7日午前9時から小田高コートで大字対抗及びオープン

軟式庭球 8月7日午前9時から市営城山庭球場で大字対抗及びオープン

最もよい歯の子に

新玉小の中根さんの

コンクールの結果

市教育委員会、小田原歯科医師会、小学校七十六名、中學校十八名、中學校九に分かれて行なわれ、小田原市立小田原市立中學校保健会共催による、さる六月九日中央公園で行なわれた「最もよい歯の子コンクール」の結果、次のものが入賞した。このコンクールは、むし歯、歯のコンクールである。



写真中央が最もよい歯の子に入賞した中根さん

- 市教育委員会、小田原歯科医師会、小学校七十六名、中學校十八名、中學校九に分かれて行なわれ、小田原市立小田原市立中學校保健会共催による、さる六月九日中央公園で行なわれた「最もよい歯の子コンクール」の結果、次のものが入賞した。
- 小学校一年生の部
 - 男子 一位 田代 幸雄(西子) 二位 湯川時次(本町) 三位 高橋和之(下府中)
 - 女子 一位 中根 新玉(新玉) 二位 坂田玲子(酒匂) 三位 市川津美(富水)
 - 小学校六年生の部
 - 男子 一位 名倉 隆(西子) 二位 松原 正(大窪) 三位 内田 章(酒匂)
 - 女子 一位 林 照美(下曾我) 二位 雨宮 美穂子(西子) 三位 宮島 昭子(下府中)
 - 中學校三年生の部
 - 男子 一位 山本 忠人(城山) 二位 永原 国次(城南) 三位 小島 正之(国府津)
 - 女子 一位 門松 成江(千代) 二位 内田 下子(鴨宮) 三位 推

みんな考えてみましょう

第26回

市政クイズ

みなさんに楽しみながら市の行政をよく知っていただくため、月一回市政クイズを行なうことになりました。奮って応募して下さい。

問題
きたる十月からは制年金の□□が始まり、明年四月から□□料を納めていただくことになり。

この□□制年金は、すでに発足した保険料のいな年金とも、国民の全部がそれぞれいづれかの□□に加入し、働けるうちに一定のものを納め、老後を□□しようとするためのものであります。□□制年金の種類は①老②年金③青年年金④遺⑤年金⑥婦⑦年金の五つです。

応募規定
1 賞金は二千円、正解者二名以上のときは正解者六名以上のときは抽せんにより五名に等分する(正解者のないときは次回加算)
2 問題中□は当用漢字(補正漢字を含む)で記入する
3 応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙
4 応募者の住所、氏名を明記する
5 応募は一人一通に限る
6 締め切りは七月十五日(十五日消印あるものは有効)
7 あて先は市役所庶務課広報文書係
8 解答及び正解者は次の本紙上に発表する(注意) 応募者は小田原市に限り、その家族は応募できない

心配ごと解消に一役 相談室1カ年の成果

相談室1カ年の成果

昨年六月二十三日開設された相談室は、早くも一周年を迎えました。この間にも打ち明けられたい心配ごとや悩みを持つ方を支援するに努め、利用は一五三三件に達し、解決しなかつたもの三七七件となつております。

この相談室は、市民の生活上の問題や結婚、青少年問題その他いろいろの問題について相談に応じ、その内容によりそれぞれ世帯更正資金、医療費貸付資金、母子福祉資金又は家庭裁判所、職業安定所、児童相談所その他必要な制度や機関等を利用して、問題解決の糸口を見つけて出すのがその目的です。

野原(国府津) 小学校二下曾我小学校 中学校二城南中学校
さらに六月十一日には、県の上の歯のコンクール(中央審査会)が県歯科医師会館で行なわれ、市からは、市コンクール一位入選者六名が参加した結果、小学校一年女子の部で、最もよい歯の子として新玉小学校一年生の中根さんが入賞しました。

り地震津波被害地に対する義援金の受付を行ないましたところ、市民の皆さまの積極的なご協力により、次のとおりあたたかい義援金が届けられました。

本市からは、市コンクール一位入選者六名が参加した結果、小学校一年女子の部で、最もよい歯の子として新玉小学校一年生の中根さんが入賞しました。

義援金品
現金 五十一万二千九百九十一円(うち市婦人団体連絡協議会からの寄託金三十八万八千二百八十八円を含む)
物品 ①衣類二十包と四箱、そのほか一六二六六、②石けん一箱 ③靴四足 ④食品一包
⑤文具具二包 ⑥雑誌三九九冊

第25回の正しい答

小田原城天守閣はこのほど見事に完成し、ここに市民の宿願は実を結びました。完成式は五月二十五日約一千三百名が参加して盛大に行なわれ、引き続き六月五日まで盛りだくさんの祝賀行事がくりひろげられております。

この天守閣は、工事費約八千九百円、鉄筋コンクリート造り、三層地上四階地下一階で、内部は一階が土産、観光の展示場、二階が小田原城関係史料及び郷土資料展示場、中階が城郭写真等の展示場、四階は展望台となつており、午前九時から午後五時まで一般の方の入場ができます。

梅品評会の結果

市と小田原梅研究会共催による第三回梅品評会が、さる六月十三、十四の両日下曾我公民館で開催されました。

出品品数は生梅六十包、加工品八品でありましたが、審査の結果次のものが入賞しました。

賞品
一等 曾我 原 中村 潔
田島 志村 和助
曾我 別所 穂坂 英雄
二 小室 義次 ほか
加工品
一等 曾我 別所 穂坂 茂
二等 神戸 小室 省三

市民の声

さる六月九日開催された改選後第一回の自治会連合会長、広報委員長合同会議において、各地区から活発に要望事項が提出されました。その中の二、三をご紹介します。

① 固定資産税及び切取等を支所から本庁へ引き上げることによつて住民に不便のからぬよう善処を要望する。

② 切取の副本を作成し、各支所に備え付ける。

③ 評価証明等は、支所からの電話連絡により本庁で作製し送付する。(総務部長)

④ 抛出国庫年金の開始については十分市民を啓蒙し、理解させるため協力を得なければ円滑な運営は期せられないと思う。そこで市報の利用や各地区ごとに説明会を開催するなど、広報活動に万全を期せられたい。

⑤ 答へ趣旨に副うようそれと関係機関に連絡し、啓蒙宣伝に十分意をそそぐようにします。(総務部長)

今後の方向など討議

関東都県数学教育研究会

第十五回関東都県数学教育研究会のあいさつ、地元知事代理大会は、関東一都六県をはじめや鈴木市長の祝辞があつた後、南高、山梨、長野三県の小、中、高校及び大学の数学を担当している先生約一千六百名が参加して、さる六月十、十一の両日、小田原市で開かれました。

大会第一日は、午前中県立小田原高校体育館で総会が開かれ、午後からは、高校大学、中学校、小学校の三つの部会に分かれて討議が行なわれました。

防火火の連絡を

消防署の望まぬ機動隊員は煙を見て火災を知るのですが、この頃火災とまちがいがついたり火が多くなつておこります。特に煙でまわつたりを燃している場合などはまちがひやすいものです。

たくさん物を燃すときには電話で結構です。から場所と時間をお知らせ下さい。

図書館のご案内

- 七月七日 新宿公民館、酒匂、国府津、下曾我、曾我分館
- 八日 上府中、豊川、桜井、片浦分館
- 九日 寺町公民館、池上、狹間分館
- 十日 朝日婦人会、今井公民館
- 十一日 入谷、上谷津、中谷津、下谷津地区、新緑読書会
- 十二日 健康学園、箱根療養所
- 十三日 下府中婦人会、中島十三区公民館
- 十四日 市営アパート(谷津)
- 十五日 東亜商業、南板橋、板橋地区
- 十六日 久野和留沢部落
- 十七日 国際通り商店街青年部、専売公社、風祭、入生田地区
- 十八日 大同毛織、小西六写真、久所婦人会
- 十九日 柳屋ブロード、報徳水、水尾地区
- 二十日 柳屋ブロード、報徳水、水尾地区
- 二十一日 一部変更になるものがあつてもお知らせしません。

国連ポスター懸賞募集

締め切り七月三十一日
問い合わせは日本国連協会小田原支部(市役所庶務課内電二三二番)